動物形態機能学実習

VT コース専門科目 1年 前期・後期 45時間 2単位 実習 必修

講師 藤田圭佑

日 実務経験の内容 動物病院における動物看護・受付・診察補助業務 学科・クラス指定等 ペテリナリーテクニシャンコース1年 学習目標 動物の身体の形態と機能を骨格標本・模型・組織像から学ぶ。 学 ひ の キーワード 顕微鏡 骨格標本 内臓器 主要膜器の組織画像 組織解説映像 準備学習及び復習の内容・履修条件 各回のテーマに沿った教料書の該当部分を事前に通読しておくとともに、講義した内容の理解を深めるために、板書した講義内容のノートを必ず復習しておくこと。検査器具撮影の限りにおいて、接帯電話の携行を許可する。原則として、学期末試験を1回実施して学習深度の向上を図る。 成糖評価基準 試験において、学びのキーワードを理解していること。実習への出席30%、期末試験70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。 備考 動物看護の教科書 2巻 参照 1~3回 イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 1~9回 イヌの身体の構造 競部 眼球 7~9回 イヌの身体の構造 競部 眼球 13~15回 イヌの身体の構造 防腔 肺 心臓 16~18回 イヌの身体の構造 防腔 肺 心臓 19~21回 イヌの身体構造 りンバ節 動脈 静脈 19~21回 イヌの身体の構造 サンバ節 動脈 静脈 22~24回 イヌの身体の構造 神経 脳 31~33回 動物種による身体構造の違い なっけ やけギ(後半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	中政奴段のもて授業制	5				
実務経験の内容 動物病院における動物看護・受付・診察補助業務 学科・クラス指定等	実務経験のある授業科 _	有 				
学科・クラス指定等 ベテリナリーテクニシャンコース 1 年 学習目標 動物の身体の形態と機能を骨格標本・模型・組織像から学ぶ。 学 ひ の キーワード 顕微鏡 骨格標本 内臓器 主要臓器の組織画像 組織解説映像 準備学習及び復習の内 各回のテーマに沿った教科書の該当部分を事前に通読しておくとともに、講義した内容の理解を深めるために、板書した講義内容のノートを必ず復習しておくこと。 授業方法 全ての実習は、付属動物病院である<動物の病院>で白衣着用のうえ行われる。必要に応じて資料を配付するが、メモ帳を携行して重要事項を書き留めておくこと。検査器具規影の限りにおいて、携帯電話の携行を許可する。原則として、学期未試験を1回実施して学習深度の向上を図る。 成績評価基準 試験において、学びのキーワードを理解していること。実習への出席 30%、期末試験 70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。 構考 動物看護の教科書 2巻 参照 授業回数 1~3 回 イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 4~6 回 イヌの身体の構造 類節 顕部 眼球 7~9 回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15 回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15 回 イヌの身体の構造 泌尿器 腎臓 膀胱 19~21 回 イヌの身体の構造 沙尿器 腎臓 膀胱 19~21 回 イヌの身体の構造 がよい 一部 10~12 回 イヌの身体の構造 がよい 10~21 回 イヌの身体の構造 がよい 22~24 回 イヌの身体の構造 がまい 25~27 回 動物種による身体構造の違い 20~27 ウマ (前半身) 31~38 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 31~38 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~39 回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	目					
学習目標 動物の身体の形態と機能を骨格標本・模型・組織像から学ぶ。 学 ひ の キーワード 顕微鏡 骨格標本 内臓器 主要脱器の組織画像 組織解説映像 準備学習及び復習の内 容回のテーマに沿った教科書の該当部分を事前に通読しておくとともに、講義した 内容の理解を深めるために、板書した講義内容のノートを必ず復習しておくこと。 授業方法 全ての実習は、付属動物病院であるく動物の病院>で白衣着用のうえ行われる。必要 に応じて資料を配付するが、メモ帳を携行して重要事項を書き留めておくこと。検 査器具撮影の限りにおいて、携帯電話の携行を許可する。原則として、学期末試験を 1 回実施して学習深度の向上を図る。 成機評価基 準 試験において、学びのキーワードを理解していること。実習への出席 30%、期末試験 70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。 備 考 動物看護の教科書 2巻 参照 授業回数 1~3 回 イヌの身体の構造 食身骨格 身体の面 体腔と膜 4~6 回 イヌの身体の構造 腹部 明球 7~9 回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15 回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15 回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18 回 イヌの身体の構造 沙尿器 腎臓 膀胱 19~21 回 イヌの身体の構造 沙沢路 腎臓 膀胱 22~24 回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27 回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(簡半身)動物種による身体構造の違い でウス ウマ(簡半身) 31~33 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (管半身) 31~33 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~38 回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	実務経験の内容 	動物病院における動物看護・受付・診察補助業務				
学 ひ の キーワード 顕微鏡 骨格標本 内臓器 主要臓器の組織画像 組織解説映像 準備学習及び復習の内 各回のテーマに沿った教科書の該当部分を事前に通読しておくとともに、講義した 内容の理解を深めるために、板書した講義内容のノートを必ず復習しておくこと。 授業方法 全ての実習は、付属動物病院である<動物の病院>で白衣着用のうえ行われる。必要 に応じて資料を配付するが、メモ帳を携行して重要事項を書き留めておくこと。検査器具撮影の限りにおいて、携帯電話の携行を許可する。原則として、学期末試験を 1 回実施して学習深度の向上を図る。 成績評価基 準 試験において、学びのキーワードを理解していること。実習への出席 30%、期末試験 70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。 動物看護の教科書 2巻 参照 投業回数 1~3回 イヌの身体の構造 かま 眼球 7~9回 イヌの身体の構造 際部 小腸 大腸 13~15回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18回 イヌの身体の構造 沙尿器 腎臓 膀胱 19~21回 イヌの身体の構造 沙ズ節 動脈 静脈 22~24回 イヌの身体の構造 が尿器 腎臓 膀胱 22~24回 イヌの身体の構造 が尿器 腎臓 膀胱 13~30回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (後半身) 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (後半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (前半身) 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	学科・クラス指定等	ベテリナリーテクニシャンコース1年				
準備学習及び復習の内容・一文に沿った教科書の該当部分を事前に通続しておくとともに、講義した容・履修条件 内容の理解を深めるために、板書した講義内容のノートを必ず復習しておくこと。 授業方法 全ての実習は、付属動物病院であるく動物の病院>で白衣着用のうえ行われる。必要に応じて資料を配付するが、メモ帳を携行して重要事項を書き留めておくこと。検査器具撮影の限りにおいて、携帯電話の携行を許可する。原則として、学期末試験を1回実施して学習深度の向上を図る。 試験において、学びのキーワードを理解していること。実習への出席30%、期末試験70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。 備考 動物看護の教科書 2巻 参照 授業回数 1~3回 イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 4~6回 イヌの身体の構造 崩肢 頭部 眼球 7~9回 イヌの身体の構造 胸腔 耳 口腔 10~12回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18回 イヌの身体の構造 脚腔 肺 心臓 16~18回 イヌの身体の構造 神経 脳 15~2~27回 カスの身体の構造 神経 脳 55~27回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(前半身) 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(後半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(前半身) 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(前半身) 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	学習目標	動物の身体の形態と機能を骨格標本・模型・組織像から学ぶ。				
容・履修条件 内容の理解を深めるために、板書した講義内容のノートを必ず復習しておくこと。 授業方法 全ての実習は、付属動物病院であるく動物の病院>で白衣着用のうえ行われる。必要に応じて資料を配付するが、メモ帳を携行して重要事項を書き留めておくこと。検査器具撮影の限りにおいて、携帯電話の携行を許可する。原則として、学期末試験を1回実施して学習深度の向上を図る。 成績評価基準 試験において、学びのキーワードを理解していること。実習への出席30%、期末試験70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。備考 動物看護の教科書 2巻 参照 授業回数 1~3回 イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 イヌの身体の構造 鼻腔 耳 口腔 10~12回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15回 イヌの身体の構造 膨肥 ・心臓 16~18回 イヌの身体の構造 泌尿器 腎臓 膀胱 19~21回 イヌの身体の構造 沙尿器 腎臓 膀胱 19~21回 イヌの身体の構造 リンパ節 動脈 静脈 22~24回 イヌの身体の構造 河ンパ節 動脈 静脈 3~33回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(前半身)動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(後半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(前半身) 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(後半身) 37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	学 ひ め キーワード	顕微鏡 骨格標本 内臓器 主要臓器の組織画像 組織解説映像				
授業方法 全ての実習は、付属動物病院である<動物の病院>で白衣着用のうえ行われる。必要に応じて資料を配付するが、メモ帳を携行して重要事項を書き留めておくこと。検査器具撮影の限りにおいて、携帯電話の携行を許可する。原則として、学期末試験を1回実施して学習深度の向上を図る。 成績評価基準 試験において、学びのキーワードを理解していること。実習への出席30%、期末試験70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。備考 動物看護の教科書 2巻 参照 授業回数 1~3回 イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 4~6回 イヌの身体の構造 前肢 頭部 眼球 7~9回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18回 イヌの身体の構造 沙尿器 腎臓 膀胱 19~21回 イヌの身体の構造 リンバ節 動脈 静脈 22~24回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(前半身) 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(後半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(後半身) 37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	準備学習及び復習の内	各回のテーマに沿った教科書の該当部分を事前に通読しておくとともに、講義した				
に応じて資料を配付するが、メモ帳を携行して重要事項を書き留めておくこと。検査器具撮影の限りにおいて、携帯電話の携行を許可する。原則として、学期末試験を1回実施して学習深度の向上を図る。 成績評価基準 試験において、学びのキーワードを理解していること。実習への出席 30%、期末試験 70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。 備考 動物看護の教科書 2巻 参照 授業回数 1~3回 イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 4~6回 イヌの身体の構造 鼻腔 耳 口腔 10~12回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15回 イヌの身体の構造 が尿器 腎臓 膀胱 19~21回 イヌの身体の構造 リンパ節 動脈 静脈 22~24回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(前半身) 28~30回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(後半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(後半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(後半身) 31~36回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(後半身) 37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	容·履修条件	内容の理解を深めるために、板書した講義内容のノートを必ず復習しておくこと。				
査器具撮影の限りにおいて、携帯電話の携行を許可する。原則として、学期末試験を 1回実施して学習深度の向上を図る。 成績評価基準 試験において、学びのキーワードを理解していること。実習への出席 30%、期末試験 70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。 備考 動物看護の教科書 2巻 参照 授業回数 1~3回 イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 4~6回 イヌの身体の構造 前肢 頭部 眼球 7~9回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 10~12回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18回 イヌの身体の構造 ルンバ節 動脈 静脈 19~21回 イヌの身体の構造 リンバ節 動脈 静脈 22~24回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (前半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (後半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (前半身) 34~36回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (前半身) 34~36回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	授業方法	全ての実習は、付属動物病院である<動物の病院>で白衣着用のうえ行われる。必要				
1回実施して学習深度の向上を図る。		に応じて資料を配付するが、メモ帳を携行して重要事項を書き留めておくこと。検				
成績評価基準 試験において、学びのキーワードを理解していること。実習への出席 30%、期末試験 70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。 備 考 動物看護の教科書 2巻 参照 授業回数 1~3 回 イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 4~6 回 イヌの身体の構造 前肢 頭部 眼球 7~9 回 イヌの身体の構造 胸腔 耳 口腔 10~12 回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15 回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18 回 イヌの身体の構造 泌尿器 腎臓 膀胱 19~21 回 イヌの身体の構造 リンバ節 動脈 静脈 22~24 回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27 回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (前半身) 28~30 回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (後半身) 31~33 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (前半身) 34~36 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~39 回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)		査器具撮影の限りにおいて、携帯電話の携行を許可する。原則として、学期末試験を				
験 70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。 備 考 動物看護の教科書 2巻 参照 1~3 回 イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 4~6 回 イヌの身体の構造 前肢 頭部 眼球 7~9 回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15 回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15 回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18 回 イヌの身体の構造 沙尿器 腎臓 膀胱 19~21 回 イヌの身体の構造 神経 脳 22~24 回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27 回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (前半身) 31~33 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (前半身) 31~36 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 31~37~39 回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)		 1回実施して学習深度の向上を図る。				
## できまり 一次の身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 イヌの身体の構造 前肢 頭部 眼球 イヌの身体の構造 静腔 耳 口腔 10~12 回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15 回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18 回 イヌの身体の構造 泌尿器 腎臓 膀胱 19~21 回 イヌの身体の構造 リンバ節 動脈 静脈 22~24 回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27 回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (前半身) 28~30 回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (後半身) 31~33 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (前半身) 34~36 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~39 回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	成績評価基 準					
授業回数						
1~3回 イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜 4~6回 イヌの身体の構造 前肢 頭部 眼球 7~9回 イヌの身体の構造 鼻腔 耳 口腔 10~12回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18回 イヌの身体の構造 リンパ節 動脈 静脈 19~21回 イヌの身体の構造 リンパ節 動脈 静脈 22~24回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (前半身) 28~30回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (前半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 34~36回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	備考	動物看護の教科書 2巻 参照				
4~6回 イヌの身体の構造 前肢 頭部 眼球 7~9回 イヌの身体の構造 鼻腔 耳 口腔 10~12回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18回 イヌの身体の構造 泌尿器 腎臓 膀胱 19~21回 イヌの身体の構造 リンパ節 動脈 静脈 22~24回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(前半身) 28~30回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(後半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(前半身) 34~36回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(後半身) 37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	授業回数					
7~9回 イヌの身体の構造 鼻腔 耳 口腔 10~12回 イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸 13~15回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18回 イヌの身体の構造 泌尿器 腎臓 膀胱 19~21回 イヌの身体の構造 リンパ節 動脈 静脈 22~24回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (前半身) 28~30回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (後半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (前半身) 34~36回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	1~3回	イヌの身体の構造 全身骨格 身体の面 体腔と膜				
10~12 回	4~6回	イヌの身体の構造 前肢 頭部 眼球				
13~15 回 イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓 16~18 回 イヌの身体の構造 泌尿器 腎臓 膀胱 19~21 回 イヌの身体の構造 リンパ節 動脈 静脈 22~24 回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27 回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (前半身) 28~30 回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (後半身) 31~33 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (前半身) 34~36 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~39 回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	7~9 回	イヌの身体の構造 鼻腔 耳 口腔				
16~18 回 イヌの身体の構造 泌尿器 腎臓 膀胱 19~21 回 イヌの身体の構造 リンパ節 動脈 静脈 22~24 回 イヌの身体の構造 神経 脳 25~27 回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (前半身) 28~30 回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (後半身) 31~33 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (前半身) 34~36 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~39 回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	10~12 回	イヌの身体の構造 腹部 小腸 大腸				
19~21 回	13~15 回	イヌの身体の構造 胸腔 肺 心臓				
22~24 回	16~18 回	イヌの身体の構造 泌尿器 腎臓 膀胱				
25~27回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(前半身) 28~30回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(後半身) 31~33回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(前半身) 34~36回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(後半身) 37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	19~21 回	イヌの身体の構造 リンパ節 動脈 静脈				
28~30 回 動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ (後半身) 31~33 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (前半身) 34~36 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ (後半身) 37~39 回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	22~24 回	イヌの身体の構造 神経 脳				
31~33 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(前半身) 34~36 回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(後半身) 37~39 回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	25~27 回	動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(前半身)				
34~36回 動物種による身体構造の違い マウス ウマ(後半身) 37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	28~30 回	動物種による身体構造の違い 猫 ウサギ(後半身)				
37~39回 顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)	31~33 回	動物種による身体構造の違い マウス ウマ(前半身)				
	34~36 回	動物種による身体構造の違い マウス ウマ(後半身)				
	37~39 回	顕微鏡の使い方 (名称・倍率・条件)				
40~42 回 顕微鏡の使い方 (操作万法)	40~42 回	顕微鏡の使い方 (操作方法)				
43~45回 顕微鏡の使い方 (操作方法・メンテナンス)	43~45 回	顕微鏡の使い方 (操作方法・メンテナンス)				